

UNITEX ArchiveLT

LTOおよびHDD、オプティカルディスク・アーカイブへの高速アーカイブ
&リトリブ、オフライン管理機能を提供するアーカイブソフトウェア



特長

● 高速アーカイブ&リトリブ

UNITEX ArchiveLTは、独自のデータ転送アルゴリズムにより、デバイスの性能を最大限に活かす高速データアーカイブを可能にしています。デバイスはLTO以外にも、HDDやSSDなどのディスクストレージ、オプティカルディスク・アーカイブ^{※1}にも対応し、高速にアーカイブすることができます。また、複数のデバイスへの同時アーカイブやアーカイブ後の自動ベリファイ、LTOテープの暗号化など、重要なデータを安全に取り扱うための機能を多数搭載しています。

※1 オプションライセンスが必要です。



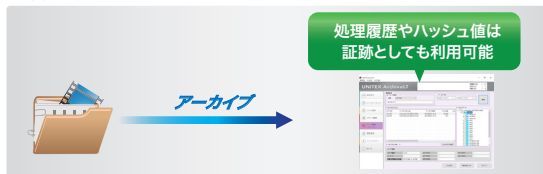
● 安心の履歴管理機能

大切なデータ資産の処理結果は自動的に保存され、履歴管理画面にて確認することが可能です。

【履歴管理機能】

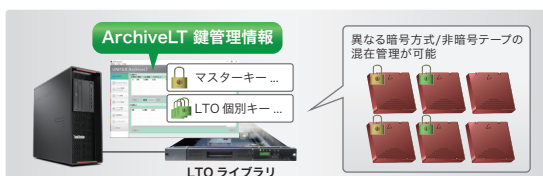
- 処理結果
- 処理時間
- 入力元/出力先情報
- 処理データ一覧
- ハッシュ値 (MD5/SHA-1)
- パフォーマンス情報

※画面での確認だけでなく、レポートファイルとして出力することも可能です。



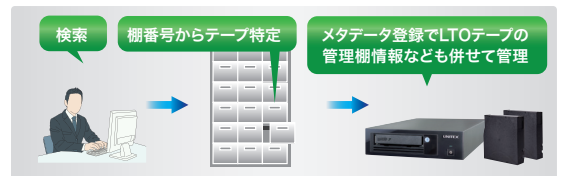
● LTFSハードウェア暗号化機能 オプション

マスターキー方式と個別キー方式により暗号化。暗号 / 非暗号テープの混在管理が可能です。



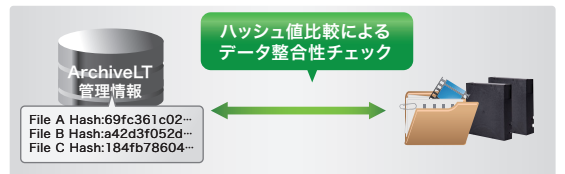
● アーカイブデータのオフライン管理

アーカイブしたデータは管理情報に登録され、アーカイブデータのオフライン検索を行うことが可能です。LTOに保管されているデータを確認することや、目的のデータがどのLTOに保管されているかを容易に検索できます。また、アーカイブデータには任意のメタデータを最大15個まで登録することができます。例えば、メタデータにLTOの保管場所やデータの種類などを登録しておくことで多数のLTOの棚管理を容易に行うことが可能です。



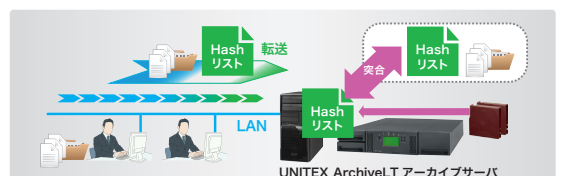
● アーカイブデータの整合性チェック

アーカイブしたデータは、各ファイルのハッシュ値が自動的に管理情報に登録されます。整合性チェック機能では、アーカイブデータからハッシュ値を再計算し、管理情報のハッシュ値と突合することにより、アーカイブデータに変更がないことを確認できます。



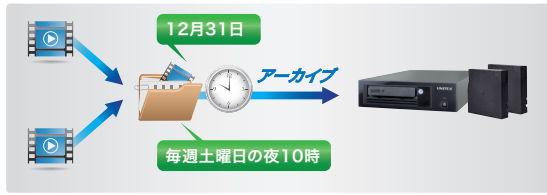
● リモートクライアント機能 オプション

LTOアーカイブサーバにリモートPCからデータのアーカイブ/リトリブが可能です。



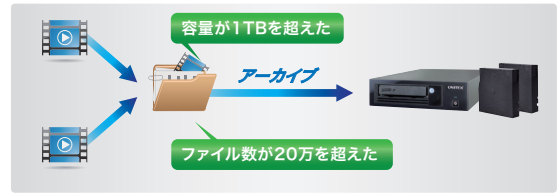
● スケジュールアーカイブ **オプション**

「毎日6時」や「毎週金曜」というように、スケジュールリングしてアーカイブすることができます。



● フォルダ監視アーカイブ **オプション**

フォルダを監視し、容量超過やファイル数の超過、指定のファイル名の検出などで自動的にアーカイブを開始することができます。

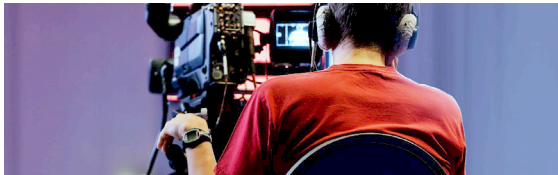


利用用途

● 映像データや監視カメラデータなどのさまざまな大容量データのアーカイブ

映像データは4K、8Kと大容量化が進んでいます。また、映像データは素材、プロジェクト、メタデータファイルなど管理対象となるファイルが多数存在します。その他デジタル資産なども含め、どのように保存、管理していくかが課題となっています。

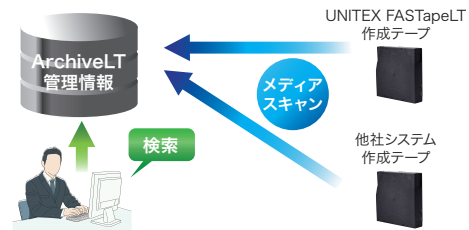
UNITEX ArchiveLTでは、信頼性があり、コストパフォーマンスにも優れたLTOにデータを保存し、管理する機能により、この課題を解決します。



他ソフトウェアからの移行

UNITEX FASTapeLTや他社のソフトウェアにて作成されたメディアをスキャンすることにより、UNITEX ArchiveLTの管理情報に追加することができます。

この機能により、他ソフトウェアで作成されたメディアを取込み、オフライン管理することができます。



● LTO資産のオフライン保管

UNITEX ArchiveLTでアーカイブしたデータだけでなく、過去に保存されたLTOテープ資産をUNITEX ArchiveLTに取込み、オフライン管理を行うことができます。オフライン管理機能を利用することで、どのデータがどこに保存されているかを容易に検索することができ、情報資産の有効活用ができるようになります。



● ランサムウェア対策

重要なデータはLTOにアーカイブしてオフライン管理しておくことで、ランサムウェアなどによるセキュリティ被害を最小限に抑えることができます。UNITEX ArchiveLTでは保存されたデータが必要となった時に容易にデータを取り出すことができます。



動作環境要件

名称	対応装置/環境
CPU	推奨 Intel Xeon E3 4Core 以上
メモリ	推奨 8GB 以上
推奨インタフェース	USB 3.0 以上 ※ USB機器を接続する場合 SAS 6Gbps 以上 ※ SAS機器を接続する場合
ディスプレイ	解像度 XGA以上が表示可能なディスプレイ
対応OS	Windows 7 (x86/x64) Windows 8 / 8.1 (x86/x64) Windows 10 (x86/x64) Ver.1607以降 Windows 11 (x64) Windows Server 2008 R2 (x64) Windows Server 2012 / 2012 R2 (x64) Windows Server 2016 (x64) Windows Server 2019 (x64) Windows Server 2022 (x64) ※ 記載のないOSについては、お問い合わせください。
対応装置	<ul style="list-style-type: none"> LTOシングルドライブ LT90H/80H/70H/70/60H/60/50H/50(USB/SAS) LTO ライブラリ Dual LTO Series フラッシュメモリ/ディスクストレージ SONY オプティカルディスク・アーカイブ ODS-D280U ※1 ※1 オプションライセンスが必要です。
対応媒体	<ul style="list-style-type: none"> LTO ULTRIUMカートリッジ(LTFS形式、TAR形式 ※1) フラッシュメモリ/ディスクストレージ ※2 SONY オプティカルディスク・アーカイブカートリッジ ODC3300R ※3 クラウドストレージ (Google Drive、Amazon S3、Wasabi) ※4 ※1 TARアーカイブオプションライセンスが必要です。 ※2 FAT32 / exFAT / NTFS / UDF形式 ※3 オプティカルディスク・アーカイブ連携オプションライセンスが必要です。 ※4 クラウド連携オプションライセンスが必要です。